

NPO法人 PandA-J (Protection and Advocacy-Japan = **ぱんだーじ**) (所在地：東京都国分寺市)

事業名 セルフアドボカシー支援に向けた学習プログラムに関する取組

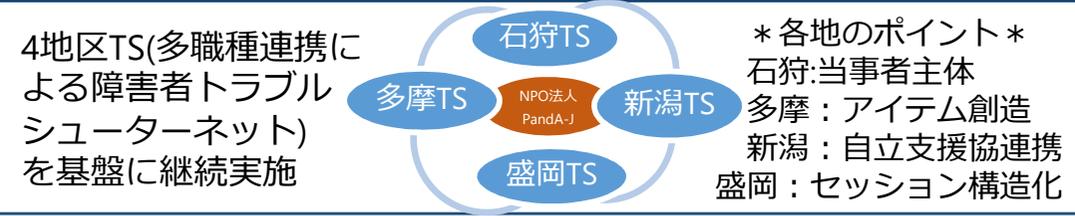
研究テーマ 学校から社会への移行期 ○ 生涯の各ライフステージ ○

主な対象 知的障害 発達障害

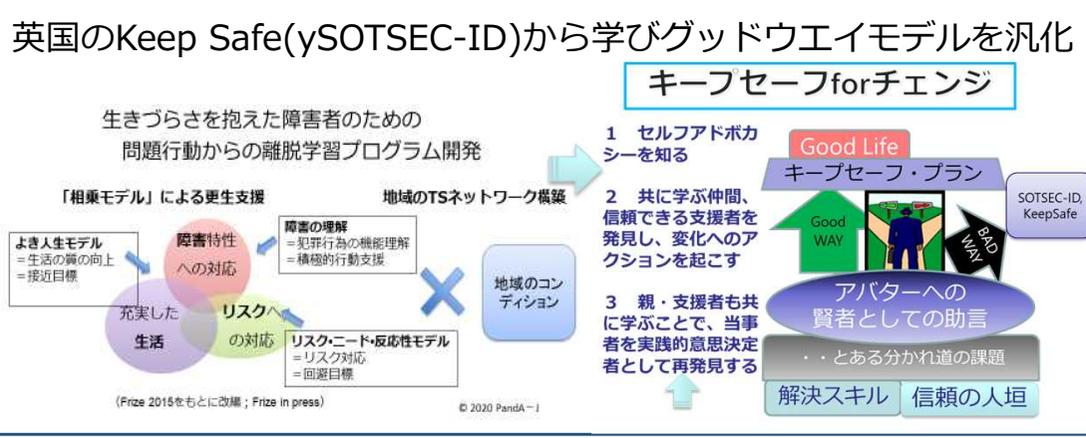
事業の趣旨・目的

対人トラブルや触法行為リスクなど様々な生きづらさを抱えるようになったライフステージにいる知的発達症の人たちを対象とした効果的な学習はどうあるべきか検討し、自分で自分を守る（セルフ・アドボカシー）ための問題解決スキルを獲得するプログラム開発

事業実施体制・連携先



学習プログラムの内容



研究の成果と課題

1. 学習内容は、日常生活でのちょっとしたトラブル（ステージ1）社会生活上の対人トラブル（ステージ2）、人生を左右するような触法トラブル（ステージ3）に分けて実施するとよい。
2. 当事者が培ってきた迎合性や思考停止などの反応を抑え、課題に向き合えるようにするためには、安易な直面化よりも**仮想事例によるナラティブなアプローチ**が有効である。
3. 当事者主体のセッションとするためには、支援者の並行的伴走支援に熟達することや**当事者会の組織化**などが必要である。
4. 自立支援協議会や地域活動センターなどとの連携により旺盛な展開ができた地区でも、2020年度コロナ禍のため十分活動できなかった。オンライン化の必要性があるが、**対面実施**が重要である。



その他研究の詳細など

NPO法人PandA-Jホームページ
<http://www.panda-j.com>
 2月13日報告会onZoom動画 → <https://fb.watch/3RVZ4Qeuat/>

NPO法人 PandA-J ぱんだーじ
 Protection & Advocacy Japan